



かぼちゃっこ

「笑顔きらきら・夢いっぱい・いきいきチャレンジ宮小っ子」

令和7年
12月16日

No.9



HP アクセスQR コード

学びを変える意識

人口減少、グローバル化、生成AIの加速度的進展、地球規模の様々な課題等々……。子どもたちがこれから生きていく未来は、私たち大人が経験してきたものとは大きく違うものになることは想像に難しくありません。「予測困難な時代」、「変わり続ける時代」等、いろいろな言い方でこれからの時代や社会が表現されていますが、間違いなく言えるのは、誰も経験したことがない世界が待っているということです。当然、私たち大人も経験していないのですから、すべてを教えることはできません。だからこそ、子どもたちが生きていく未来、これからの社会では、初めて出会う未来でも、自分（自分たち）の力で切り拓いていく力が大切になってきます。

「学びを変える」……多くの学校で話題になり、取り組んでいることです。本校でも、これまで培ってきた学びを大事にしながらも、これからに目を向けて、変わるべきところは変わっていかなくてはと思っています。特に、学びを教師主導から子どもたち主体へと転換していき、自分の学びを自分でコントロールしながら、自分（自分たち）の力で課題を解決していく学びにしていきたいと考えています。

先日、5年生の授業研究会がありました。教師が全体に向けて話したのは、始めと終わり、合わせて10分もないくらい。それ以外の時間、子どもたちは課題に向かってずっと集中して学びを進めていました。誰と一緒に学ぶのか、どの課題から取り組むのか、何を使って調べるのか等を自分たちで選択し、必要ならヒントカードを見に行ったり、先生と話したりしながら学んでいる子どもたちの姿は、まさに主体的に学び、課題を解決しようとする姿でした。

もちろんこの時間がすべてではなく、それまで担任も子どもたちも試行錯誤しながら学びを進めてきました。今回うまくいったから、次からも同じとは限らないかもしれませんが、しかし、あの集中して学んでいる子どもたちの顔は、これから私たちが目指していく学びの姿の一つになったことは間違いありません。学びを変えることは、簡単なことではありませんが、「未来をしなやかに生き抜く力」を育てていくためにも、子どもたちと一緒に一步一步進んでいきたいと思っています。



ヒントカードを見ながら、疑問を出し合い、考える姿



授業の終わりのころ、自分たちの学びを先生に伝える姿

[illegible]